

猛き、儂き、大志の為に

中国四大奇書の一つ『水滸伝』は、英雄たちの反逆を描く、北宋時代の史実をもとに成立した小説です。12世紀、徽宗皇帝の治世を舞台に、腐敗した政権に不満を抱いた宋江率いる108人の豪傑が、梁山泊に集う物語です。『水滸伝』は江戸時代の日本でも一大ブームとなり、曲亭馬琴や葛飾北斎、歌川国芳らの手によって、新たな物語や美術表現が展開していききました。現代でも、小説や漫画、映画、ドラマ、ゲームなど、多彩なメディアで広く親しまれています。本展は『水滸伝』にまつわる中国および日本の美術と資料を紹介するものです。あわせて、英雄たちの生き様や価値観がどのように描かれ、受け取られてきたのかをたどり、『水滸伝』が今なお人々を惹きつける理由を探ります。

北宋の都・開封の春の賑わい



重要文化財 趙漸《清明上河図》(部分) 明時代・万曆5年(1577) 林原美術館

伸びやかで力強い黄庭堅晩年の代表作



重要文化財 黄庭堅《伏波神祠詩卷》(部分) 北宋時代・建中靖国元年(1101) 永青文庫



《青磁水仙盆》汝窯 北宋時代・11世紀末-12世紀初 大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈/安宅コレクション) 写真:六田知弘

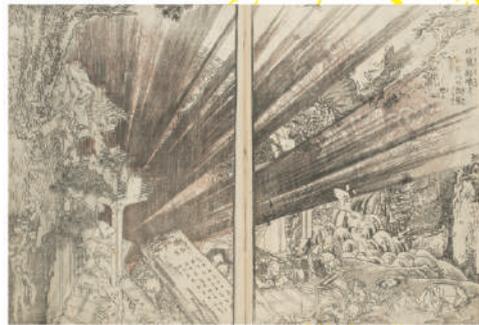
宮廷に愛された汝窯、静寂の美

国芳の出世作、刺青が彩る英雄像



歌川国芳《通俗水滸伝豪傑百八人之一個(老人)》左から 清河泉之産武松、花和尚魯知深初名魯達、九紋龍史進 龍淵虎陳達、浪裡白龍張翔 いずれも部分 江戸時代・19世紀 個人蔵 下: 徳宗《神霄玉清万寿宮祠》(部分) 宣和元年(1119) 台東区立書道博物館、素文齋《江山樓観図》(部分) 北宋時代・10-11世紀 大阪市立美術館

北斎の本領発揮! 構図が生むドラマ



葛飾北斎《新編水滸伝》巻之一 江戸時代・文化2年(1805) 浦上斎寫堂

劇画の巨匠(フルゴ13) さいとう・たかをが描く、迫力の人間ドラマ



さいとう・たかを《水滸伝》第2巻 原画) さいとう・プロダクション ©さいとう・たかを/さいとう・プロダクション

大阪市立美術館

Osaka City Museum of Fine Arts

(天王寺公園内)

〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82 JR・Osaka Metro天王寺駅、近鉄大阪阿部野橋駅下車、北西へ約400m

美術館公式HP: <https://www.osaka-art-museum.jp/>
 大阪市立美術館公式X: @ocmf_a_since1936
 展覧会公式サイト: <https://www.yomiuri-osaka.com/lp/suikoden/>

お問い合わせ: 大阪市総合コールセンター なにわコール (午前8時~午後9時、年中無休)
 TEL: 06-4301-7285



展覧会公式サイト

【表面】
 上: 歌川国芳《通俗水滸伝豪傑百八人之一個(老人)》左から 清河泉之産武松、花和尚魯知深初名魯達、九紋龍史進 龍淵虎陳達、浪裡白龍張翔 いずれも部分 江戸時代・19世紀 個人蔵 下: 徳宗《神霄玉清万寿宮祠》(部分) 宣和元年(1119) 台東区立書道博物館、素文齋《江山樓観図》(部分) 北宋時代・10-11世紀 大阪市立美術館

巡回 2026年9月19日(土)~11月8日(日) 東京ステーションギャラリー